

川島宏治の



プラス1

広島国際学院(広島市安芸区)理事長・総長 田中 満彦さん

広島市安芸区の広島国際学院は4月、広島国際学院中学を開校する。2020年度の大学入試制度改革を見据え、既設の広島国際学院高とともに一貫教育を行うのが目的。理事長・総長の田中満彦さん(45)は「自ら考え、道を切り開く若者を育てたい」と語る。

5年かけて中学・高校の新校舎建設を進めてきた。「私たちの教育理念を具現化する校舎にしたかった」。屋内に外光を取り



入れやすくし、明るくて風通しのいい造りになっている。中学では、総合学習の時間を「百錬錬磨」と称し、生徒に多様な実学経験を積ませるといふ。

私学経営は少子化で「10年先も読めない」。学校の永続には何が必要か、教育愛の実践者だった創立者、鶴虎太郎氏の精神に立ち返って考えている。

2面に続く

<広島国際学院> 数学教師だった鶴虎太郎氏(1870~1951年)が1927年、広島市国泰寺町(現中区)に広島高等予備校を設立。38年に広島電気学校も設立した。46年、広島県海田町に移転。法人所在地は広島市安芸区中野。同区に広島国際学院大と、同大自動車短期大学部のキャンパス、海田町には広島国際学院中学・高校の新校舎がある。

23日から3月8日までは、これまで番組に登場した方々をアンコール放送します。9日から通常放送に戻ります。